

田端ひととき散歩

平成25年～29年度開催内容一覧

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
第1回 (4月)	文芸芸術家村のはじまり ～小杉放庵の熾した小さな種火～ 小杉放庵、板谷波山、吉田三郎、 香取秀真、芥川龍之介	文芸芸術家村の草創期～画家・小杉放庵が選んだ田端とは～ 小杉放庵、板谷波山、吉田三郎、 香取秀真	田端が「画かき村」だった頃 ～ポプラ倶楽部の人びとを中心に～ 小杉放庵、山本鼎、倉田白羊、 芥川龍之介	村上元三 没後10年 ～直木賞を支えた作家の生涯～ 村上元三、菊池寛、山手樹一郎、 岩田専太郎	“画かき村”の繪描きたち ～明治・大正時代の田端～ 小杉放庵、山本鼎、池田輝方・蕉園、 小穴隆一
第2回 (5月)	サトウハチローと 大正昭和の児童文化 ～時代を超えて伝わる詩と名曲～ サトウハチロー、野口雨情、 斎藤佐次郎、山本鼎	正岡子規 ～今なお眠る地に遺した歌の心～ 正岡子規、香取秀真、土屋文明、 鹿児島寿蔵	田端文芸芸術家村の終焉 ～戦後70年を迎えて～ 小杉放庵、板谷波山、村上元三、 岩田専太郎	鉄道からはじまる田端の街ものがたり ～田端駅開業120周年に寄せて～ 小杉放庵、板谷波山、 芥川龍之介、室生犀星	近藤富枝と『田端文芸村』 ～最後の田端人、その生涯～ 近藤富枝、芥川龍之介、 板谷波山、室生犀星
第3回 (6月)	板谷波山、 かつて美しき日本人がいた ～映画「HAZAN」上映会～	板谷波山、 かつて美しき日本人がいた ～映画「HAZAN」上映会～	東京-金沢のかけはしとなった文士たち ～北陸新幹線がつなぐゆかりの地～ 室生犀星、吉田三郎、中野重治、 窪川鶴次郎	板谷波山、 かつて美しき日本人がいた ～映画「HAZAN」上映会～	板谷波山、 かつて美しき日本人がいた ～映画「HAZAN」上映会～
第4回 (9月)	堀辰雄『風立ちぬ』 ～巨匠が原案に選んだ物語～ 堀辰雄、室生犀星、中野重治、 窪川鶴次郎、佐多稲子	児童文化を担った田端人 ～のらくろ生みの親・田水泡河を 中心に～ 田水泡河、サトウハチロー、野口雨情、 山本鼎	子規から始まる文士と野球 ～糸瓜忌にちなんで～ 正岡子規、押川春浪、竹久夢二、 サトウハチロー	俳人・正岡子規 ～子規が目指した新奇の俳句とは～ 正岡子規、久保田万太郎、 瀧井孝作、小穴隆一	子規と親友・漱石 ～生誕150年にちなんで～ 正岡子規、香取秀真、 土屋文明、高田浪吉、鹿児島寿蔵
第5回 (10月)	田端の美術工芸作家たち ～岡倉天心没後100年にちなんで～ 岡倉天心、板谷波山、香取秀真、 内藤春治、小川三知	芥川龍之介 1914年以後 ～田端転入100年を迎えて～ 芥川龍之介、室生犀星、小穴隆一、 菊池寛	文士の手紙 ～大切な人だけに見せた文士の素顔～ 芥川龍之介、室生犀星、堀辰雄、 林芙美子	朔太郎と犀星 ～水魚の交わり～ 萩原朔太郎、室生犀星、堀辰雄	芥川龍之介没後90年 ～その生涯と多彩な交友関係～ 芥川龍之介、下島勲、 鹿島龍蔵、小穴隆一
第6回 (11月)	子規と漱石と芥川 ～友人から師弟へとつながる 文学の道～ 正岡子規、芥川龍之介、 香取秀真、土屋文明	文士の食卓～何を食べていたのか気 になりますか？～ 芥川龍之介、室生犀星、菊池寛、 林芙美子、正岡子規	ポプラ坂に暮らした鑄金家の話 ～内藤春治生誕120年～ 内藤春治、香取秀真、香取正彦	村山槐多 生誕120年 ～夭逝の画家、その人生～ 村山槐多、山本鼎、小杉放庵、 倉田白羊	挿絵と小説の関係 ～岩田専太郎と川口松太郎を中心に～ 岩田専太郎、川口松太郎、 村上元三、石井鶴三
第7回 (12月)	芥川龍之介文学入門 ～初期の作品を中心に～ 「羅生門」、「鼻」、「蜘蛛の糸」	田端に暮らした女性作家 ～近代女性文学の先駆けたち～ 佐多稲子、野上弥生子、林芙美子、 林きむ子	板谷波山、 かつて美しき日本人がいた ～映画「HAZAN」上映会～	田端で生まれた童心世界 ～児童を惹きつけるその人間力とは～ サトウハチロー、竹久夢二、 田水泡河、野口雨情	犀星の世界観 ～矛盾に富んだ“存在”とは～ 室生犀星、芥川龍之介、 堀辰雄、中野重治
第8回 (3月)	田端の坂ものがたり ～文芸芸術家と坂にまつわる エピソード～ 江戸坂、不動坂、ポプラ坂、 与楽寺坂、八幡坂	犀星の美学～詩と小説と～ 室生犀星、芥川龍之介、萩原朔太郎、 堀辰雄	芥川龍之介の日常生活 ～周辺の人びとが見たその素顔～ 芥川龍之介、芥川文、室生犀星、 小穴隆一	田端の王様・芥川龍之介の憧憬 ～“漱石山房”と“澄江堂”～ 芥川龍之介、菊池寛、 野上豊一郎、野上弥生子	童謡の誕生から100年 ～歌い継がれる童謡の魅力～ 野口雨情、サトウハチロー、竹久夢二